

キャラクター名 デュフェル	プレイヤー名
------------------	--------

メインクラス	エキスプローラー	Lv.1:	シーフ	レベル	12
サポートクラス	ダンサー	Lv.1:	ルイネーター	性別	女
称号クラス				年齢	18
種族	ヴァーナ			境遇	親友
出自(効果)	犯罪者			目標	

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	21	28	6	23	6	8
ボーナス	3	7	9	2	7	2	2
クラス修正	0	1	3	0	2	1	1
他修正							
能力値	3	8	12	2	9	3	3

HP	104
MP	90
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	風折りの刃	至近	-1	10					
左手	ロストデビルズグローブ	至近		5					
頭部	ロストデビルズキャップ			5	1	1			
胴部	踊り子の衣装				1	1			
補助	ロストデビルズマント				1	2			
装身具	ロストデビルズアイ							4	
能力値			8	0	12	0	3	21	8
スキル				12	3			1	5
その他			2		2				
総計(右)			9	27					
総計(左)			10	22	20	4	3	26	13
総計(両)			9	32					m
ダイス数			4 d	2 d	4 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	9			9	+ 2 d
トラップ解除	8			8	+ 2 d
危険感知	9			9	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定	3			3	+ 2 d
錬金術判定					+ d

所持品	
ミニボメロ	ハイHPポーション3
ランチボックス	ハイMPポーション2
果実2	
野菜2	漆黒の星
冒険者セット	太陽のリボン
ポーションホルダー	
ハイHPポーション2	
ハイMPポーション3	
バックパック	

現在重量:	14
最大重量:	14
所持金:	1860
預金・借金:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オーバーパス	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 狼族、移動力+5m、行動値に+1								
ワイドアタック	1	4	Ma	武器	範囲(選択)	命中		
効果: 武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SLx2]								
エンブレイド	5	-	P	-	自身	-		
効果: EP獲得								
アームズマスタリー:短剣	1	-	P	-	自身	-		
効果: 命中+1D								
ツインフェンサー	1	-	P	-	自身	-		
効果: 命中+1D								
バタフライダンス	1	-	P	-	自身	-		
効果: 回避+1D								
インテュイション	1	-	P	-	自身	-		
効果: 敏捷+1D								
ダガーアーツ	1	-	P	-	自身	-		
効果: 回避+3								
スペシャライズ:短剣	1	-	P	-	自身	-		
効果: 命中、攻撃+1								
アンビデクスタリティ	1	-	P	-	自身	-		
効果: 二刀流								
ラピッドハンド	1	-	P	-	自身	-		
効果: 攻撃+敏捷								
ブレイカーブランド	1	-	P	-	自身	-		
効果: 白兵ダメージ+3D、EP上限14								
ステップ:ダーク	3	4	S	-	自身	自動		
効果: 回避+6								
エンカレッジ	1	6	I	4Sq	単体	自動	シーン1回	
効果: 対象即行動								
アフターイメージ	1	12	Mo	-	自身	自動		
効果: シーン中命中、回避+1D								

幼少期、邪神官である親によって大量の瘴気に侵され、強力な妖魔を生み出す素体にされた妖魔化の処置の最中、拠点突き止めたドラン家の襲撃があり、瘴気の侵蝕を抑えるために神魔の刻印を刻まれた上で保護された身寄りがないためドラン家で生活する事になる

強さを求めた親の影響か何かと同年代のラヴァルに勝負を挑んでは負けていた共に学んだクラフト流の技術でも常に遅れを取り、自分では極意に辿り着く事は難しく、辿り着いたとしても後塵を拝するだけであると諦め始める

どうにかして先んじる事が出来ないかと考え、自分にとってラヴァルに無い物として神魔の刻印に目を付け、瘴気による強化の技法を磨き始める

対極となる技術を両立せんとしたためクラフト流の極意は遂に得られず、神の技にて強化した獲物と瘴気にて侵した獲物の二刀流による戦闘技術を確立する

それでも敗北を重ね、いつか勝つのだと牙を研いで、別たれる日が来ることなど想像もしていなかった

しかしラヴァルは忽然と姿を消し、いくら探せど見つけれなかった。己の半身のように、いて当然と思っていた相手の失踪、見つけれない事への焦燥から諦めかけた大人達に罵詈雑言を浴びせ、家を飛び出した

ラヴァルを探して各地を巡り、別の大陸へと赴き、最低限の稼ぎの分だけ冒険者として働きつつ旅を続けている

旅の途中

- ・グラスウェルズで魔族の計画に巻き込まれ、居合わせた他の冒険者と共に戦い、右腕と引き換えに討ち果たす。その時に得た魔族の装備を利用しているが、戦いの影響で激しく損傷していたため胴防具は失われている
- ・"始まりの港町"ヴァルーナで密輸入の摘発の依頼に携わった際、金持ちに売り付けられるための商品として持ち込まれていたボメロクイーンの幼体に異様に懐かれ、神官長の緩さから連れてけいばいんじゃね？と言われ、旅の相手として共に行動する
- ・ミニボメロが果物を欲しがり、与えないと拗ねるが、あまり懐に余裕が無いため持ち運びできる規模で実りの多い果実の自家栽培を始める
- ・"機械の街"カナンで解決した事件の関係者に義手を譲ってもらい、右腕が使えるようになる

アースランでラヴァルらしき人物を見たという情報を入手し、アースランへの帰路に向かう

男として振舞っており、本人の他に真実を知るのはラヴァルの両親とミニボメロだけである

